

助成・寄付寄贈報告

- ※ 認定 NPO 法人イーパーツ様 スグくるん PC 寄贈プログラム ノート PC3 台 ～ 御礼申し上げます ～
- 掃除機、子ども用自転車、雨の日に室内で遊べるボードゲームなど、寄付をいただける方を募っております -
 - ご不要の物がありましたらご協力をお願い申し上げます -

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

専門職向けの研修会です。日々の業務の中で、対応や方向性に迷うことはありませんか。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思ひます。

日時：原則、毎月第3水曜日 18：30～21：00

場所：沼津市商工会議所 4 階会議室 D ※今年度より会場が変更しています

参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回

参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

今後の予定：10/16、11/20、12/18、1/15、2/19、3/19

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）

：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町

教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）

：函南町・清水町・伊豆市・長泉町

市民メンタルヘルス相談：伊東市・富士市

県および市町主催ゲートキーパー養成事業

スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー

看護学校スクールカウンセリング

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター

社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業

沼津市：東部圏域 居場所「なごみ」（県委託事業）

伊豆市：伊豆圏域 居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング

企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催

一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち

-----沼津市-----

保育所等訪問支援 / 児童発達支援「あんず」

放課後等デイサービス「かりん」

-----伊豆市-----

みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぼーと」

✿・✿・✿・✿・✿・✿ Be サポート会員募集中 ✿・✿・✿・✿・✿・✿

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。公認心理師・臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 55 名、賛助会員 3 名、学生会員 1 名（2024.9.20 時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2024 年 9 月 25 日発行 Vol.36

『 Be サポートに期待すること 』

常葉大学大学院 健康科学研究科長・臨床心理学専攻長 前田 正 教授

心理の専門家による心理療法、発達障害・不登校・ひきこもり・被災者支援事業等を展開し、静岡県東部の心の健康を守る要となっている、Be サポートの活動に心より敬意を表します。

Be サポートのモットーに「Support Being 私たちは あなたらしい生き方を 応援します」とあります。

何かすぐれていることや、社会や他者の評価を追い求めるのではなく、ありのままの自然な自分らしさそのものを認め、自分自身で主体的に生きて行けるようにする。やがては、人生の様々な大波小波をサーフィンに乗るように少しでも楽しめるような生き方をめざす、そういった思いの込められた場所が Be サポートなのではないかと思っています。

私と理事長・皆川行寛先生との出会いは、今から 35 年前の病院臨床の現場にさかのぼります。当時より生き生きとして理想に燃え、何よりも患者さんに接する先生の態度に「温かい人間的ふれあい」を感じ、大変感銘を受けておりました。先生は、患者さんの外来・入院から社会復帰後まで熱心に関わっておられ、退院して遠くの地域に帰って行った患者さんまでもが先生を心の支えにしていました。先生が居るだけで、病棟スタッフ全体に、困難の中にも希望を見出す・優しい雰囲気が漂っていたように思います。

誠実にして患者さん第一の立場を貫く皆川先生が理事長となり、それに賛同する心理の専門家の方々が集う Be サポートには全幅の信頼を寄せています。

今年度からは、専門家を目指す常葉大学の大学院生の教育にもお力添えいただき、心より感謝しております。

学生たちは、Be サポートで、実際の臨床現場における貴重な生の体験を通して、子どもたちが「優しい心」に育つように関わることや、緩やかな発達ゆえに時間がかかりつつも関わり方でできることが増えること、子どもの得意・不得意を将来の健やかな発展に役立てられるようにという意識を持つことなど、多くを学ばせていただいています。

このように、心を育てる Be サポートの在り方により、援助を受ける方々のみならず Be サポートに関わる全ての方々に優しい心が育っていると感じます。

Be サポートが、地域の心の健康を守る安全基地となり、心を育てる温かい臨床をさらに前進させて、益々ご発展されることをお祈りしております。



Be サポートの地震防災対策について

8 月の南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発表を受け、Be サポートでも改めて対策を見直すこととし、来談される方々と共有できる地震時の対応マニュアルを作成しました。

Be サポートの住所地(沼津市高島町)は、「津波浸水想定区域」には該当していません。しかし、大きな地震となると、近隣の建物や道路など崩壊の可能性が懸念されます。また、各所、遠方からも来談されるクライアントさん、電車通勤をしているスタッフもあり、非常時には帰宅困難者の発生も心配されます。

こうした可能性を視野に入れ、地震発生後、避難が必要と判断された場合には、クライアントさんや来訪中の方、スタッフともに、一次的に向かい側のタイムズ駐車場へ、二次的には最寄りの避難所「開北小学校」へ避難することとしました。避難先について、クライアントさんへ事前に通知しておく(待合室および待合テーブルへの掲示)ことで、送迎のご家族の方にも知っていただき、スムーズに避難先にお迎えしていただけるようにと考えました。

また、各居場所事業における防災マニュアルについても再検討しています。「なごみ」では非常時を想定した話し合いをメンバーさんと共に行い、実際に避難場所へ足を運んでみるなど、活動の中でも対策を進めています。



活動報告

みつばち沼津 児童発達支援「あんず」



あんずの夏の活動は、晴れていれば毎日プールで元気に遊びました。今年の夏は本当に暑くて、数年前に作った手作りターフが役に立ち、小さくとも日陰が出来ること有難く思いました。水風船、水鉄砲、おもちゃのスcoop、プリンのカップなど使って水に慣れ親しんでとても楽しそうな子どもたちでした。シャワーの水をすくって顔を洗うことや、頭や体を自分で拭く練習、お着替えの練習やお洋服を畳んで片付ける練習も頑張りました。ビーチサンダルを履くことも毎年恒例になり、少しずつ歩くだけですが経験してみんな歩き慣れていって来ていました。

みつばち農園ではゴーヤ、茄子、いんげん豆、ピーマン、プチトマトが実りました。今年もたくさん実り、子どもたちと一緒に収穫が出来ました。収穫したお野菜をフライパンで焼いて塩味で調理すると、苦手なお野菜も少しずつ口に運んでもくれることもありました。取れたてのお野菜は柔らかくて食べやすいようです。年長さんになって、お野菜が大好きになってくれたお子さんもいました。

7月には『おみせやさんごっこ』としておうちの方にも来て頂いて、おかしいもの遊びを楽しめる行事をしました。トラックやヨーヨーの工作や、綿菓子、アイスクリーム、おさかな釣り、カメ釣り、しゅりけん釣り、ひよこすくい、手作りの出店でお祭りのようなお買い物遊びになりました。お財布とお金は子どもたちが手作りで作ってくれました。

みつばち沼津 放課後等デイサービス「かりん」



この夏は異常な暑さでした。夏休み期間中は、ほぼ毎日と言ってよいほど熱中症警戒アラートが発令されていたように思います。この暑さでは、いつものような外遊びは無理なので、ビニールプールで泳いだり、『みかん』さんや沢に行き水遊びをしたりと、少しでも身体が涼しくなるような活動を行いました。水遊びでは、子どもたちだけでなく、スタッフもびしょ濡れになって遊びます！子どもたちから水を掛けられると、口では「やめてー！」と言いつつも、実は内心「冷たくて気持ちいいからもっとかけて！」と、私が思っていたのはここだけの話です…。

また、今年の夏は中高生の利用が多く、彼らはビニールプールでは満足できないだろうということで、外の大きなプール（上岩崎プール）へもお出かけをしました。ニューウェルサンピア沼津が閉鎖されてから行けていなかったのも、久しぶりの大きなプールです！上岩崎プールでは、競争をしたり、水を掛け合ったり、小さなウォーターライダーを滑ったりと、それぞれ思い思いの過ごし方で大きなプールを楽しみました。そして、楽しく遊んでいるうちに、顔を水につけられなかった子が、少し潜ることができるまでに成長していて、スタッフはとても驚きました！水は怖いだけじゃない、楽しい部分もあるとわかってしまえば、成長は早いのかもかもしれません。これからみかんでは、いろんなことの楽しい面を経験できる機会を提供していけたらと思っています。



みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」



今年の夏は記録的な猛暑となり、熱中症警戒アラートが連日発表される夏休みでした。スタッフは、子どもの体調観察を行いながら、水分補給の声掛けに配慮する日々でした。夏休みの午後は、皆が楽しみにしている水遊びです。今年の夏休み1番のニュースは、新しいプールを買ったことです。低学年の子どもであれば、少し「けのび」が出来る広さです。子どもたちも大喜びでした。大きなプールにしたら、けのびが上手になった子もいます。プールに入るのは順番です。待っている子どもたちは、流水をシャワー状態にして体にかけて、水遊びをして楽しみました。滑り台やブランコも、シャワーをかけながら遊ぶと、またいつもと違う楽しさが味わえます。また3回ほど、みつばち沼津の「かりん」が水遊びに来てくれました。「かりん」は高学年の子供たちが多く、お兄さんたちの迫力に圧倒される場面もありました。

夏休みの宿題は、ほとんどの子どもが8月前半に終わってしまいました。45分の学習の時間は、タイマーを意識しながら、集中して取り組むことが出来ています。ご褒美シールも楽しみにしているようで、今年は寿司ネタのシールと、犬のシールが大人気でした。

夏休み後半は、連日の猛暑からくる疲れが出たのか、お休みする子もポツリポツリといましたが、大きな怪我や病氣もなく、夏休みを終えることが出来ました。



活動報告

伊豆圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「とっこ」

「とっこ」は毎週金曜日の午後、主に修善寺生いききプラザを会場として活動しています。活動場所からは狩野川の流れが見え、時にはぼんやり流れを見たり飛んでくる鳥を見たりしてなごむ事もあります。

活動は利用される方の希望やペースを大事にして、これと決めずに進めています。自宅からやりたい事を持ってきたりしてくれる方もいれば、ただトークしに来る方もいます。何かやってみただけいけれど何をしようか決まらない方には、スタッフが簡単な作品作りやゲームを提案しています。

「とっこ」ではよく手芸をやっています。最近では利用者さんに教えてもらったダイヤモンドアートのキットを使い、それぞれが絵柄を選んでコースターを作りました。キラキラしたビーズを貼り付けていく細かい作業ですが、皆さんとっても上手で、素敵な作品ができました。

皆でやるゲームも盛り上がります。ここはやりにくいかもという意見が出るオリジナルで少しお題を変えたりして、皆が楽しめるようにするのですが、利用者さんのアイデアが出てきて楽しいです。シンプルなババ抜きやジェンガ、スピード勝負のカードゲーム、また、スタッフの持ってきたジグソーパズルがとても難しく、こちらにも挑戦継続中です。夏の間お休みしていた調理も再開する予定で、皆楽しみにしています。

活動方法も、電話利用や送迎、ラインなど、遠方の方や最初の一步が踏み出しにくい方も利用しやすいように考えましたが、使ってくれる方もいてよかったと思います。これからも利用される方が気持ちよく過ごせるよう工夫していきます。気軽に見学に来ていただけたら嬉しいです。



静岡県公認心理師協会大会 ブース出展

6月に開かれた「静岡県公認心理師協会総会」の会員交流会で、Beサポートの活動についての紹介をさせていただきました。私設相談室やクリニック・病院と違い、NPO法人としてのBeサポートの活動はとても幅広く、県内の心理師の方々に改めてその活動を具体的にご紹介できました。また、他機関との情報交換もでき、ネットワーク作りに役立ちました。

今回の交流会にはこれから心理師を目指す大学院生も参加しており、Beサポートにも興味を持ってくれました。一緒に活動に加わってくれる心理師が増えることを期待しています。

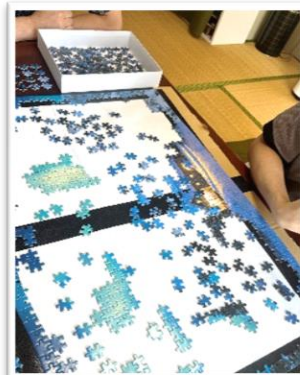


東部圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「なごみ」

地震や台風と、自然災害が続く夏となりましたが、「なごみ」は幸いにも雨風の強い日を避けて毎週利用者の方を迎えることが出来ました。家やその時の様子なども聞いて、「すごかったね」「びっくりしたね」とみんなで気持ちを共有する時間もありました。そんな「なごみ」では、今回の地震を受けて、災害時の対応について利用者の方と話をしました。避難経路の確保、避難場所の確認や、Beサポートに準備してある水や食料についてなど「なごみ」でできることをお伝えし、少しでも安心して利用できるように、スタッフも準備を進めています。部屋の中で「これは落ちてこないかな」「頭を守るためにどうしよう」など、地震の直後だったためか、みなさん熱心に話し合いをしてくださいました。これから、緊急時の連絡手段の方法などいいものを検討していきたいと考えています。

夏のなごみでは、ジグソーパズルの完成に向けてみんなでがんばっています。「スウェーデンのオーロラ」の風景をみんなで選びました。微妙な青と黒の色の違いにかなり苦戦しながらも、一生懸命1つ1つピースをはめています。途方もない作業に最初は不安を感じていた利用者さんも、少しずつながっていくピースに少し嬉しそうな表情を見せてくれる瞬間が、一緒に頑張っているスタッフとしても嬉しくなります。

「なごみ」は、利用される方が安心して過ごせる場所をめざしています。毎週木曜日に開所していますので、ご興味がある方はぜひ見学にいらしてください。



新スタッフの紹介

昨年度から勤務していますおばさん心理士の佐藤です。神出鬼没の勤務形態となっています。生まれは静岡ですが、人生の3分の2は名古屋で過ごし、そこから通っています。Beサポートのことは、さまざまなクライアントさんに会えるお仕事内容も個性的なスタッフメンバーのことも、沼津という土地も、おだんごやさんも、みんな大好きです。ずっと通って来られたらいいなと思っています。よろしくお願いします。



佐藤さんが作ってくださったペン立てです🍀